日本海水学会誌投稿規程

日本海水学会誌は定期的に日本海水学会から発行される和文および英文の学術誌であり,海水科学および海水工業技術に関する理学・工学・農学・水産学・食品科学分野などのオリジナリティならびに学術的価値を有する論文および原稿を掲載する．論文は日本海水学会編集委員会の査読者により審査される．投稿は下記の条件を満たす必要がある．

1) 論文は他誌に未発表かつ投稿中でないものに限る．
2) 論文の著者（連名の場合は１名以上）は，日本海水学会の会員でなければならない．ただし，特集における論文の著者は，会員でなくてもよい．
3) ヒトを対象とした研究は、世界医師会総会にて承認されたヘルシンキ宣言（1964 年承認，2013 年修正）の精神に則って行われたものでなければならない．これに該当する研究は，倫理委員会などの審査で承認されたものとし，その旨を本文中に明記しなければならない．

投稿に際し，著者は原稿（図表を含む）を電子ファイル（word）にし，下記の日本海水学会誌・編集事務局にメール送信する．

〒116-0013　東京都荒川区西日暮里 5-30-6
日本海水学会誌・編集事務局　株式会社アイセレクト
Tel：03-6806-8503，Fax：03-6806-8504
E-mail：edit@aiselect.co.jp

1. 論文および原稿の種類

論文は，報文，Short Paper，ノートのいずれかとする．このほか依頼原稿として総合論文，総説，解説，講座，報告，一般原稿として資料，寄書，トピックスがある．

2. 原稿の作成

原稿は，原則として A4 版用紙に word で作成する（活字：12 ポイント，明朝体(和文)・ローマン体(英文)，マージン：上下 30 mm，左右 25 mm，全角 35 字×25 行を標準とする)．原稿の作成にあたっては，最新号の学会誌を参照する．原稿別の主要フォーマットを表 1（別紙）に示す．2,600 字を刷り上がり 1 頁の目安とする．

2.1 表紙

表紙は，日本海水学会ウェブサイト（https://www.swsj.org/）または海水学会誌（第 71 巻以降の毎巻 1 号）に掲載されている投稿票を用い，必要事項を記載する(記入例はウェブサイト参照)．所属機関名および住所は正式なものを書く．英文例を以下に示す．

英文例）The Society of Sea Water Science, Japan 4-3-20, Sakawa, Odawara, Kanagawa 256-0816, Japan

2.2 要旨

著者が強調したい要点を含め，簡潔に研究の目的，方法，得られた主要な結果，結論をまとめる．

2.3 本文

- 本文見出しはポイントシステム（大見出し 1.，2.･･･，中見出し 1.1，1.2･･･，小見出し 1.1.1，　1.1.2･･･）とし，ボールド体を用いる．
- 式の引用は Eq. (1)，Eqs. (3)-(5)のように略記する．
- 図表は本文中では，Fig. 1，Figs. 2，3，Table 1 のように表記し，本文中で初めて使用する場合のみボールド体とする．
- 生物種名，物理量を表す記号にはイタリック体を用いる．
- 文献を引用する場合は，本文中の引用箇所の右肩に 1)，2，3)，4-6)のように通し番号をつける．
- 化学物質名は原則として，IUPAC の命名法に従う．
- 単位は原則として SI 単位を用いる．記号または用語の後では[　]の中に単位を記載するが，数値の後の単位には[　]をつけない．
- 引用文献は，本文引用順に通し番号をつけて並べる．すべての著者名を記入することとし，名のイニシャルを姓の頭に付けて表記する．著者名の後に論文題目を記入する．英文以外の文献の引用時に，英文タイトルを記載した場合は，末尾に（Japanese)，(Russian）等と記入する．英文タイトルが記載されていない文献は，和文で記載してもよいものとする．雑誌名（略称）はイタリック体，巻数はボールド体で記入し，最初と最

終の頁数を表記する．雑誌名の略称は原則としてChemical Abstractsおよび科学技術文献速報に従う．以下に記載方法の一部を例示する．

雑誌（定期刊行物）：

1) S. Yoshida and S. Hayano, Relationship between the extractability and the rate of transfer of potassium ion by macrocyclic carriers in liquid membrane systems, *J. Am. Chem. Soc.*, 108, 3903-3907 (1986)

成書（単行本）：

2) E. Grunwald, Thermodynamics of molecular species, 94-105, John Wiley and Sons, Inc., New York (1980)

3) I. Finnie, The mechanism of erosive wear in ductile metals, in K. Natesan (Ed.), "Corrosion-erosion behavior of materials", 118-126, The Metallurgical Soc. of AIME, New York (1980)

便覧類：

4) R. H. Perry and D. Green (Eds.), Perry's chemical engineers' handbook, 6th Ed., 3-61, McGraw-Hill, New York (1984)

学会前刷り，要旨集：

5) A. Ellor, P.E.K.Craner and J. Repp, Novel methods for evaluating epoxy-barrier coatings for seawater service, Proc. of US-Pacific Rim Workshop on Emerging Nonmetallic Materials for Marine Environment, 2101, Honolulu, USA (1997)

特許

6) T. Kaisui, Japan Tokkyo Kaiho, JP 9-12345 (1997)

インターネット資料

7) The Salt Industry Center of Japan Website, "Salt of demand and supply", (http//www.shiojigyo.com/english) (accessed 2012.8.2)

注）依頼原稿や一般原稿で引用文献を和文で書く場合は，学会誌最新号の引用形式を参考に記載する．

2.4 図表

図表は本文とは別に，A4版用紙1枚につき図または表1枚で製版可能なように明瞭に作成する．写真は図に含める．各図表に図表番号，図表タイトル，筆頭著者名を記載する．カラー印刷の場合は，刷り上がり1頁につき30,000円の追加料金が加算される．

3. 論文の査読

・原稿の採否は編集委員会において決定する．
・編集委員会は原稿について訂正を求めることができる．
・受理された原稿は編集委員会が訂正を要求した箇所以外に編集委員会の承諾なしに変更を加えてはならない．
・訂正などのために編集委員会から原稿を返却した場合，返却日から3ヶ月以内に再提出しなければならない．3ヶ月以上経過して再提出した場合は，新たな受理として取り扱う場合がある．

4. 掲載決定後の取り扱い

・掲載通知が届いた後，著者は最終原稿（図表を含む）をメールにて日本海水学会誌・編集事務局に提出する．
・掲載用の原稿が出来上がった後，著者による原稿校正を1回行う．原稿校正は印刷上の誤りを修正するものであり，内容の修正は認めない．原稿は受理後7日以内に返送されたい．期限に遅れた場合には，編集委員会の校正をもって校了とすることがある．

5. 著作権

掲載論文の著作権は日本海水学会に帰属する．論文の全部または一部を他の出版物に掲載しようとする場合は，日本海水学会の承認を得る．また，転載記事が日本海水学会誌に掲載されたものであることを明記しなければならない．

論文の全部または一部をウェブ上で公開する場合も，同様とする．ただし，会誌発刊後6か月間は公開を認めない．

表１ 原稿別の主要フォーマット

原稿区分	原稿種類	内　　容	査読	英文要旨	キーワード	和文要旨	本　　文				図表題・説明	文献
							使用言語	刷り上がり	見出し	大見出し形式		
論文	報文	独創的で価値ある結論あるいは事実を含み，重要かつ完結した内容からなる論文．印刷物として未発表のものに限る．	有	有(200語)	有	有	英文または和文	6-8頁	ポイントシステム	緒言,理論,実験,結果,考察,結言など．（必要に応じて項目の省略・結合可）	英文	英文
	Short Paper	日本海水学会ホームページに掲載された内容（テンプレート形式）にしたがって作成された短編英語論文．	有	有(100語)	有	有	英文	2頁	ポイントシステム	緒言,理論,実験,結果,考察,結言など．（必要に応じて項目の省略・結合可）	英文	英文
	ノート	断片的な研究であっても，新しい事実や重要な発見，独自に取得した価値あるデータあるいは技術的検討内容などを含む論文．	有	有(200語)	有	有	英文または和文	3-4頁	ポイントシステム	任意	英文	英文
依頼原稿	総合論文	学会賞，研究賞等を受賞した研究成果を対象に，編集委員会が依頼する論文．	有	有(200語)	有	有	英文または和文※	8-12頁	ポイントシステム	緒言,理論,実験,結果,考察,結言など．（必要に応じて項目の省略・結合可）	英文	英文
	総説	海水の科学・技術に関する著者の一連の研究成果をまとめ，関連する他の研究と比較検討したもの．	有	有(200語)	有	無	和文または英文	8頁以内	ポイントシステム	任意	英文	英文
	解説	海水の科学・技術の重要な一分野に関する調査結果に著者の意見を組み入れたもの．	有	無	無	無	和文または英文	8頁以内	ポイントシステム	任意	和文または英文	和文または英文
	講座	海水の科学・技術に関する重要な一分野に関する既存の事実またはオリジナルデータを学術的に講座としてまとめたもの．	有	無	無	無	和文または英文	8頁以内	ポイントシステム	任意	和文または英文	和文または英文
	報告	編集委員会が必要と認めた論文．	有※	有(200語)	有※	有※	英文または和文※	8頁以内	任意	任意	和文または英文※	和文または英文※
一般原稿	資料	調査結果または物性データ，設計データ，その他系統的に集積されたデータをまとめたもの．	無	無	無	無	和文または英文	4頁以内	ポイントシステム	任意	和文または英文	和文または英文
	寄書	海水の科学技術に関する紹介，着想，改良，または随想，意見,希望などを内容としたもの．	無	無	無	無	和文または英文	3頁以内	任意	任意	和文または英文	和文または英文
	トピックス	海水科学に関する国内外の研究と技術開発動向，または会議・各種学会での発表内容の紹介（詳細は日本海水学会誌後付を参照）．	無	無	無	無	和文または英文	1頁	任意	任意	和文または英文	和文または英文

※ 編集委員会で討議して決定する．

6. 別刷り料

表2（別紙）に別刷料金を示す．ただし，学生が筆頭著者の論文については，別刷料金を半額とする．掲載決定した論文の著者は，別刷り（PDF体）を購入しなければならない．申込は原稿校正の返却の時とする．依頼原稿，一般原稿の著者には，別刷り（PDF体）を無料で進呈する．また，冊子体を購入する際には，別途有料で注文を受ける．

表 2　別刷料金表　（円）

頁数	報文	ノート	Short Paper
2 頁以内	10,000	10,000	10,000
3-4 頁	15,000	15,000	―
5-6 頁	20,000	20,000	―
7-8 頁	25,000	30,000	―
9-10 頁	30,000	―	―
11-12 頁	40,000	―	―
13-14 頁	50,000	―	―
15-16 頁	60,000	―	―

※料金はすべて税抜きで示してあります．支払い時には別途消費税が付加されます．

※学生がファーストオーサーの論文については，料金は半額になります．

※冊子体の購入を希望される方は，別途有料で注文を受けます．

料金につきましては，編集事務局へお問い合わせください．

（2021年3月1日改定）